

作成日 2001年 3月26日  
改訂日 2023年 4月 1日

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名	Hamatite SC-SR2 遅延剤
会社名	シーカ・ジャパン株式会社
住 所	〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-2-7 赤坂Kタワー7F
担当部門	オペレーションズ&サプライチェーン Q-EHS
電話番号	0463-31-2772
F A X 番号	0463-31-2769
整理番号	2036-R5
推奨用途	一般工業品（業務用）

### 2. 危険有害性の要約

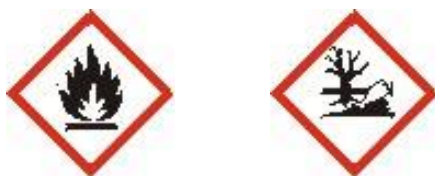
#### GHS分類：

物理化学的危険性	引火性液体	区分2
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	区分1
	水生環境有害性(長期間)	区分2

\*記載がない危険有害性は、「区分に該当しない」または「分類できない」である。

#### GHSラベル要素

##### 絵表示又はシンボル：



注意喚起語：	危険
危険有害性情報：	引火性の高い液体及び蒸気 水生生物に非常に強い毒性 長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き：	《安全対策》 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。 容器を密閉しておくこと。 容器を接地すること／アースをとること。 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。 火災を発生させない工具を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 環境への放出を避けること。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
	《応急措置》 皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。

皮膚を流水／シャワーで洗うこと。  
 火災の場合：消火するために適切な消化剤を使用すること。  
 漏出物を回収すること。

《保管》

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

《廃棄》

内容物や容器を、国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：単一物質  
 化学名：シーリング材添加剤

成分	含有量 (wt%)	官報公示整理番号 化審法 (2)-2956	CAS No. 安衛法 107-46-0
ヘキサメチルジシロキサン	100		

危険有害成分：該当なし

4. 応急措置

- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡する。
- 皮膚に付着した場合：付着物を拭き取り、多量の水と石鹸で洗う。刺激が強まったり、続く場合には医師の手当てを受ける。
- 目に入った場合：直ちに多量の水で15分以上洗浄する。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。目の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合：水で口の中をよく洗い、直ちに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤：粉末、二酸化炭素、乾燥砂、泡。
- 使ってはならない消火剤：棒状水による消火は、火災が激しくなったり飛び火したりするので、やってはならない。
- 特定の消火方法：火災や爆発の場合、ヒュームを吸入してはならない。もし、危険を冒さずにできる場合は火災区域から容器を移動させる。流出水は環境に有害性の懸念あり。
- 消火を行う者の保護：消防士は、防火衣、ヘルメット、手袋、ゴムブーツを含む標準的な防護衣、自給式呼吸器(SCBA)を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項：関係者以外の立入りを禁止する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告するべきである。流出物に触ったり踏んだりしない。十分な換気を確保する。適切な保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項：安全を確認してから、流出防止の措置をとる。環境への放出を避ける。
- 除去方法：少量の場合は、土砂などに吸収させて蓋付きの空容器に回収する。

火花を発生しない安全なシャベルなどを使用する。  
 多量の場合は、土砂などで流れを止め、液の表面を泡で覆った後に回収する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

- 技術的対策 : 火気厳禁。適切な保護具を使用する。  
 注意事項 : 局所排気装置の設置、設備の密閉化又は全体換気を適正に行なうことが望ましい。  
 安全取扱い注意事項 : 保護具を着用して作業を行なう。目、皮膚への接触を避ける。炎、火花、もしくは高温体との接触または過熱を避ける。

### 保管

- 適切な保管条件 : 適切な換気のある乾燥した冷暗所に密栓して保管する。  
 安全な容器包装材料 : 溶剤により侵食されない材料を使用する。  
 その他、消防法、労働安全衛生法等の法令に定めるところに従う。

## 8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 防災シャワー、手洗い、洗眼設備の設置  
 管理濃度 : 設定されていない  
 許容濃度 : 日本産業衛生学会 / ACGIH (TWA) 勧告値なし

### 保護具

- 呼吸器用の保護具 : 状況に応じ着用  
 手の保護具 : ゴム手袋  
 目の保護具 : 側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡  
 皮膚及び身体の保護具 : 作業衣、安全靴  
 適切な衛生対策 : 作業中は飲食、喫煙をしない。

## 9. 物理的及び化学的性質

- 形状 : 液体  
 色 : 無色透明  
 臭い : 微臭  
 pH : 該当せず  
 融点/凝固点 : -45℃ (フタル酸ジイソノニル)  
 沸点 : 100℃  
 引火点 : -1℃  
 発火点 : 300℃以上  
 密度 : 0.70~0.80 g/cm<sup>3</sup> (25℃)  
 燃焼又は爆発範囲の上限/下限 : データなし  
 蒸気圧 : データなし  
 相対ガス密度 : データなし  
 動粘性率 : データなし  
 オクタノール/水分配係数 : データなし  
 分解温度 : データなし  
 粒子特性 : データなし  
 溶解度 (水) : 難溶 (1ppm 以下)

## 10. 安定性及び反応性

反応性 : 特記すべき情報なし。  
 安定性・反応性 : 通常の条件下では安定。  
 避けるべき材料 : 特になし  
 危険有害な分解生成物 : データなし

### 1.1. 有害性情報

急性毒性 : 吸入 ラット LD<sub>50</sub> 8mg/kg bw/day, 28 日間(蒸気)  
 経口 ラット LD<sub>50</sub> 5000mg/kg 以上  
 経皮 ラット LD<sub>50</sub> 2000mg/kg 以上  
 皮膚腐食性/刺激性 : 500mg/24hr 弱刺激性(ウサギ)  
 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : データなし  
 呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データなし  
 生殖細胞変異原性 : データなし  
 発がん性 : データなし  
 生殖毒性 : データなし  
 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : データなし  
 特定標的臓器毒 (反復ばく露) : データなし  
 誤えん有害性 : データなし

### 1.2. 環境影響情報

#### 環境影響データ

製品	種	試験結果
ヘキサメチルジシロキサン(CAS 107-46-0)		
水生		
魚類	LD <sub>50</sub> ヒメダカ	1.27mg/l, 48hr

#### 生態毒性

魚毒性 : 水生生物に非常に強い毒性。長期継続的影響によって水生生物に毒性。

残留性・分解性 : データなし  
 生態蓄積性 : データなし  
 土壤中の移動性 : データなし  
 水生環境有害性 (急性) : 既知の成分の計算結果が区分 1 に該当  
 水生環境有害性 (長期間) : 既知の成分の計算結果が区分 2 に該当  
 オゾン層への有害性 : データなし

### 1.3. 廃棄上の注意

- ・焼却処理。但し、高引火点の為にご注意ください。焼却の際、シリカの微粉が生成致しますので適切な設備での焼却をお願いします。また、必要に応じて防塵マスク等の保護具の着用をお願いいたします。
- ・産業廃棄物 (廃油と廃プラスチック類の混合物) として許可を受けた専門業者に処分を委託する。
- ・空容器を廃棄するときは、内容物を完全に除去しておく。

### 1.4. 輸送上の注意

国連分類 : クラス 3. 2 (引火性液体、容器等級 : II)

国連番号 : 1993 (その他の中引火点引火性液体 (他の危険性を有しないもの))

国内規制

陸上輸送 : 消防法, 労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。

海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件 :

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に  
行なうこと。

火気厳禁。

15. 適用法令

消防法 : 危険物第4類第一石油類 (非水溶性液体) 危険等級II (指定数量 200L)

船舶安全法 : 引火性液体類

航空法 : 引火性液体

毒物及び劇物取締法 : 該当せず

16. その他の情報

-----  
本データシートは、日本工業規格 Z 7253:2019 「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)」 (以下「JIS」という) に準じて作成されており、用語の定義は、JISに従っています。

本データシートは製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、作成時点で弊社の有する情報を取扱事業者に提供するものです。

取扱事業者は自らの責任において各々の実体に応じた適切な処置を講ずることが必要です。

記載内容は現時点で入手できる資料/情報/データに基づいて作成しております。しかし含有量、物理化学的性質、危険有害性等に関してはいかなる保障をなすものではありません。

関連する新しい情報を入手した場合、本 SDS は改訂されることがあります。また注意事項は通常の取扱いを対象にしたもので、特別な取扱いをする場合には用途/用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。